

今週（12月7日から12月11日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、引き続き資金調達ニーズの強い展開となった。無担保コールO/N物は、邦銀勢の調達を中心に▲0.045～▲0.015%の出合いが見られた。無担保コールO/N加重平均レートは、週を通して▲0.03%前後で推移した。ターム物に関しては、1W～2W物を中心に▲0.03～▲0.018%近辺での出合い散見された。日銀当座預金残高は、週を通して470兆円台後半～480兆円程度で推移した。

●レポ市場

今週のGC O/Nは、▲0.090～▲0.060%程度のレンジで推移した。週初7日のGC T/Nは、▲0.085～▲0.075%程度での出合い。短国買入オペがオファーされた8日から10日にかけてのT/Nは、▲0.090～▲0.080%程度に低下した。短国3M発行日の取引となる11日のT/Nは、▲0.080～▲0.060%程度に上昇した。

SCは、個別銘柄では2y410～418、5y140～146、10y340～360、20y170～174、30y59～68、40y8～13等、カレント近辺の銘柄に引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、来週の入札ラッシュが警戒される一方、日銀の短国買入オペが25,000億円と手厚くオファーされるなど、年末の需給軟化に対応する姿勢が示された。これを受けて3M物は▲0.090～▲0.085%と横ばい、6M物は▲0.090%近辺とやや軟調に推移する一方で、1Y物は▲0.146～▲0.138%出合いと、オペ期待からか、堅調な推移となった。

8日に実施された短国買入オペは、前回から5,000億円減額の25,000億円でオファーされ、平均落札利回較差+0.003%、按分落札利回較差▲0.002%と、しっかりした結果となった。

9日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.086%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.0882%、按分落札利回▲0.0861%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.097～▲0.090%出合いと堅調に推移した。

11日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.088～▲0.085%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.0867%、按分落札利回▲0.0837%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.088～▲0.086%出合いとやや堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気機器やその他金融、小売業態で大型の発行が見られたほか、不動産や機械業態でもまとまった額の発行が見られ、償還総額7,000億円程度に対して、発行総額1兆円程度と発行超のマーケットとなった。市場発行残高は今年の8月末付近に過去最高の26兆826億円に達したが、新型コロナウイルス感染拡大の懸念が後退し、企業の予防的調達が一服した影響からか、それ以降は減少傾向となっている。11月末の残高は24兆5,616億円となった。しかし、例年の賞与や法人税等の資金手当ての動きに加え、現在の良好な発行環境からか、足元では発行が若干の増加基調となっており、週を通しての残高は24兆8,000～9,000億円程度で推移した。発行レートについては、CP等買入オペ見合いや新型コロナ金融支援オペの担保確保の買いニーズからか、対象となる銘柄についてはその大半がマイナス圏で推移している。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
12/7（月）	26,547.44	0.020	104.08	△ 0.028	△ 0.080	4,781,400
12/8（火）	26,467.08	0.015	104.05	△ 0.028	△ 0.091	4,802,400
12/9（水）	26,817.94	0.015	104.15	△ 0.032	△ 0.088	4,800,700
12/10（木）	26,756.24	0.010	104.27	△ 0.032	△ 0.086	4,771,400
12/11（金）	26,652.52	0.010	104.01	△ 0.030	△ 0.077	4,768,000

来週（12月14日から12月18日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
12/14 (月)	12月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 10月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				
12/15 (火)	10月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)	TB6M 38,000億円 12/16発行	流動性供給 5,000億円 12/16発行		米FOMC(1日目) 11月の米鉱工業生産・設備稼働率
12/16 (水)	11月の貿易統計(財務省 8:50)	TB1Y 35,000億円 12/21発行			米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 10月の米企業在庫 11月の米小売売上高 11月の英消費者物価指数
12/17 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00～)	TB3M 73,000億円 12/21発行			英中銀MPC結果発表 11月の米住宅着工件数 11月のユーロ圏消費者物価指数改定値
12/18 (金)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 11月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)				

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/14 (月)	▲ 1,200	▲ 13,200	▲ 14,400	国債買入 CP買入 国債補完	▲ 700 200	13,900	▲ 13,400	▲ 1,000	源泉税揚げ TB3M発行▲73000償還60700
12/15 (火)	▲ 2,000	75,000	73,000	貸出支援	▲ 54,000		▲ 54,000	19,000	年金定時払い 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲2700 個人向け3・5Y償還400
12/16 (水)	▲ 3,000	▲ 37,000	▲ 40,000	全店共通	▲ 1,900		▲ 1,900	▲ 41,900	TB6M発行▲38000償還2600 流動性供給▲5000
12/17 (木)	▲ 3,000	2,000	▲ 1,000	CP買入		6,000	6,000	5,000	
12/18 (金)	▲ 4,000	19,000	15,000	被災地支援	▲ 100		▲ 100	14,900	交付税借入▲11000期日21000
週 間 合 計	▲ 13,200	45,800	32,600	—	▲ 56,500	19,900	▲ 36,600	▲ 4,000	

12/14は日銀予想、12/15以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、15日までは概ね横ばい圏での取引が見込まれる。16日以降は基準比率の増加（11月期間15.0%→12月期間17.5%）や各種オペによりマクロ加算残高の増額が見込まれ、再びON物・タム物ともに調達ニーズが強まる可能性もあり得る。レポ市場は、GC T/Nは▲0.09～▲0.06%程度での推移を予想する。短国市場は、15日に6M物、16日に1Y物、17日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、14日に実施が予想される短国買入オペのオフアー額にも注目したい。CP市場は、14日にCP等買入オペが6,000億円で実施予定となっている。今月は6,000億円で3回オフアーされる予定となっており、按分レートがどの程度で決着するのか注目される。

主要なイベントは、国内では14日に12月調査の日銀短観、17～18日に金融政策決定会合、18日に11月の全国CPI、海外では15～16日にFOMC、16日に11月の英消費者物価指数、17日に英中銀MPC結果発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入